

Title	学会発表等
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1988
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.33 (1988.) ,p.183- 195
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000033-0183

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

郁金から細網内皮系賦活多糖の単離および性状

友田正司, 権田良子, 清水訓子, 金成美枝子, 木村 都, 宇都宮慶子, 小野田利子
〔日本薬学会 第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

桂皮から細網内皮系賦活多糖の単離および性状

友田正司, 清水訓子, 権田良子, 金成美枝子, 木村 都, 川口雅美, 川辺千織
〔日本薬学会 第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

防風から新ペクチン質の単離および性状

友田正司, 清水訓子, 権田良子, 金成美枝子, 高梨典子, 高橋菜穂子
〔日本薬学会 第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

Structural Features and Biological Activities of Hexuronic Acid-Containing Mucilages

友田正司

〔3rd Chemical Congress of North America and 195th ACS National Meeting (1988 年 6 月, Toronto) で発表〕

フユアオイ種子の多糖とペプチドグリカンの構造と活性

友田正司, 清水訓子, 権田良子, 金成美枝子, ヒキノヒロシ*
〔第 11 回糖質シンポジウム (1988 年 7 月, 岐阜) で発表〕

*東北大学薬学部

The Major Pectic Arabinogalactan having an Activity on the Reticuloendothelial System from the Root and Rhizome of *Saposhnikovia divaricata*

友田正司, 清水訓子, 権田良子, 金成美枝子

〔14th International Carbohydrate Symposium (1988 年 8 月, Stockholm) で発表〕

Structural Features and Biological Activities of the Major Neutral Polysaccharide from the Seed of *Malva verticillata*

清水訓子, 友田正司, 権田良子, 金成美枝子, ヒキノヒロシ*

〔14th International Carbohydrate Symposium (1988 年 8 月, Stockholm) で発表〕

*東北大学薬学部

杜仲から細網内皮系賦活多糖の単離と性状

友田正司, 権田良子, 清水訓子, 金成美枝子, 草野浩美, 迫田久美子
〔日本生薬学会, 第 35 回年会 (1988 年 9 月, 新潟) で発表〕

冬葵子の各種多糖の生物活性と構造

友田正司, 清水訓子, 権田良子, 金成美枝子, 山田陽城*, ヒキノヒロシ**

〔日本生薬学会, 第 35 回年会 (1988 年 9 月, 新潟) で発表〕

*北里研・東医総研, **東北大学薬学部

Genetic Deficiency of UDP-Glucuronyltransferase

Michio MATSUI

松井道夫

〔日米合同薬学大会 1987 (1987 年 12 月, Honolulu, Hawaii) で発表〕

ラット肝 Sulfotransferase の分離法の比較と多様性の検討

高橋美恵, 本間 浩, 松井道夫

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

ラット肝 Androsterone Sulfotransferase の精製とその性質

佐々木努, 本間 浩, 松井道夫

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

異種グルクロン酸転移酵素が欠損している Gunn ラットと Wistar 系ラットの交配

永井総子, 本間 浩, 松井道夫, 棚瀬久雄*

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*三共・安全性研究所

Genetic Deficiency of UDP-Glucuronosyltransferase in the Rat

Michio MATSUI, Fusako NGAI, and Hiroshi HOMMA

松井道夫, 永井総子, 本間 浩

〔Workshop: Cellular and Molecular Aspects of Glucuronidation (1988 年 4 月, Montpellier, France) で発表〕

電気化学検出器をもちいる高速液体クロマトグラフィー

海老沢麻子, 井地まゆみ, 高井信治*, 永田佳子, 松島美一

〔第 3 回エル・エス・ティ学会大会 (1987 年 12 月, 東京) で発表〕

*東京大学生産技術研究所

高速液体クロマトグラフィーを用いる免疫抑制剤の溶離挙動

井地まゆみ, 海老沢麻子, 高井信治*, 永田佳子, 松島美一

〔第 3 回エル・エス・ティ学会大会 (1987 年 12 月, 東京) で発表〕

*東京大学生産技術研究所

Hydroxyl radical production from hydrogen peroxide and copper (II) complexes

小沢俊彦*, 後藤浩美, 花木 昭*

〔日米合同薬学大会 1987 (1987 年 12 月, Honolulu) で発表〕

*放射線医学総合研究所

A chemical model of catechol-O-methyltransferase. 3

菅田節朗, 石原静子, 松島美一

〔日米合同薬学大会 1987 (1987 年 12 月, Honolulu) で発表〕

シクロスポリンの HPLC に関する研究

高井信治*, 井地まゆみ, 海老沢麻子, 永田佳子, 松島美一, 滝花義男**, 山田 豊**,
上野 精**

〔第 31 回液体クロマトグラフ研究会 (1988 年 1 月, 京都) で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **山梨医科大学

高速液体クロマトグラフィーによる犬尿毒症物質としての陰イオン物質の検討

河村美奈*, 大橋文人*, 本家弘之*, 横山孝雄*, 永田佳子, 松島美一, 高井信治**, 西村亮平*,
佐々木伸雄*, 竹内 啓*

〔第 105 回日本獣医学会 (1988 年 4 月, 東京) で発表〕

*東京大学農学部, **東京大学生産技術研究所

カチオン性 ^{99m}Tc 錯体の腫瘍親和性の検討

加留部善晴*, 岩本浩司*, 高田二郎*, 前田辰夫**, 松島美一

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*福岡大学薬学部, **九州がんセンター

ピリドキサルとアミノおよびグアニジル化合物のジメチルホルムアミド溶液における反応

谷原範子, 永田佳子, 松島美一

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

Electrophoretic Separation of Proteins in Preparative Scale

Hideyuki NISHIZAWA, Yukako WATANABE, Natsumi KITA, Yukako KAMITE, and Yoshihiro ABE

西沢秀幸, 渡辺右佳子, 北奈津美, 上手友香子, 阿部芳廣

〔JUC Pharmaceutical Sciences, (1987 年 12 月, ホノルル) で発表〕

不織布強化ポリアクリルアミドゲル膜を用いる人血清の二次元電気泳動法

西沢秀幸, 北奈津美, 室伏美枝子

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

液粒向流抽出法による混合物分離

西沢秀幸, 渡辺右佳子, 阿部芳廣

〔日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島)で発表〕

マウス・メタロチオネイン分子種の分析

鈴木純子, 小林静子

〔第60回日本生化学会(1987年10月, 金沢)で発表〕

実験的紫外線白内障の組織的検討

粕谷美南子*, 石井康男*, 糸井素一**, 小林静子

〔第53回日本中部眼科学会(1987年11月, 名古屋)で発表〕

Nakano (cac) マウスの白内障形成初期におけるレンズタンパク質の変化

粕谷美南子*, 糸井素一**, 伊藤牧子, 中嶋恭美, 小林静子

〔第53回日本中部眼科学会(1987年11月, 名古屋)で発表〕

Cataractogenesis in UV-irradiated rat

Shizuko KOBAYASHI, Minako KASUYA*, Yasuo ISHII*. and Motokazu ITOI**

小林静子, 粕谷美南子, 石井康男, 糸井素一

〔Fourth Congress US-Japan Cooperative Cataract Research Group (CCRG) (1987年12月, ハワイ)で発表〕

Changes in lens proteins induced in the early stages of cataractogenesis of cac mice

Minako KASUYA*, Motokazu ITOI, Shizuko KOBAYASHI

粕谷美南子, 糸井素一, 小林静子

〔Fourth Congress US-Japan Cooperative Cataract Research Group (CCRG) (1987年12月, ハワイ)で発表〕

放射線白内障の薬—フリー・ラジカルによる白内障形成とSH化合物の防御効果—

小林静子, 粕谷美南子*, 石井康男*, 糸井素一**, 鈴木紀夫***, 馬嶋秀行***

〔第14回水晶体研究会(1988年1月, 京都)で発表〕

Isometallothioneins の生理的役割

鈴木純子, 小林静子

〔第1回メタロチオネイン・シンポジウム(1988年5月, 伊香保)で発表〕

UV-B 照射ラット水晶体上皮細胞の Acid Phosphatase 活性染色

粕谷美南子*, 石井康男*, 糸井素一**, 小林静子

〔第27回日本白内障学会(1988年7月, 名古屋)で発表〕

*: 白内障研究所, **: 京都府立医科大学眼科, ***: 東京大学医学部放射線基礎医学

meso-Hexestrol の微小管形成に及ぼす影響

榊原由美子, 長谷川清, 小田泰子, 佐藤良博, 平田愛子*, 松橋通生*

〔第 60 回日本生化学会大会 (1987 年 10 月, 金沢) で発表〕

*: 東大応微研第 I 研究部

部分精製ラノステロール 14-脱メチル化チトクローム P-450 によるラノステロール-32-水酸化体の代謝

関川善夫, 園田よし子, 佐藤良博

〔第 31 回日本薬学会関東支部大会 (1987 年 11 月, 東京) で発表〕

微小管タンパクと GaCl₃ の相互作用

長谷川清, 榊原由美子, 佐藤良博, 大久保恭仁*

〔第 31 回日本薬学会関東支部大会 (1987 年 11 月, 東京) で発表〕

*: 東北薬大放射薬品学教室

Metabolism of 27-Nor-24,25-dihydrolanosterol by Partially Purified Rat Liver P-450 Catalyzing Lanosterol 14 α -Demethylation

園田よし子, 関川善夫, 佐藤良博

〔The Japanese-United States Congress of Pharmaceutical Sciences (1987 年 12 月, Honolulu, Hawaii) で発表〕

放線菌の cell-free 系による α -formylketone 誘導体の還元反応

小田泰子, 佐藤留美子, 佐藤良博

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

Subtilisin 消化 tubulin と MAPs の相互作用

榊原由美子, 長谷川清, 小田泰子, 佐藤良博, 平田愛子*, 松橋通生*

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*東大応微研第 I 研究部

塩基性下における diethylstilbestrol epoxide およびその誘導体のピナコル転位反応

綿貫 充, 小田泰子, 佐藤良博

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

部分精製チトクローム P-450_{14DM} による 26,27-dinor-24,25-dihydrolanosterol の代謝

園田よし子, 関川善夫, 佐藤良博

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

Formation of Free Radicals from Chemical Carcinogens in the Environment

児玉昌彦*, 中山 勉*, 金子元久*, 斎藤 肇*, 小田泰子, 佐藤良博

〔The Fourth Biennial General Meeting of the Society for Free Radical Research (1988年4月, 京都)で発表〕

*国立がんセンター研究所生物物理

Stereochemistry of Transformation of 5'-Formylgriseofulvin to 5' α -Hydroxymethylgriseofulvin with a Cell-Free System of *Streptomyces cinereocrocatu*s

小田泰子, 佐藤良博

〔16th International Symposium on the Chemistry of Natural Products (1988年5月, 京都)で発表〕

A Possible Structure of the Active Site of Lanosterol 14-Demethylase (P450/14DM) of Yeast

吉田雄三*, 青山由利*, 園田よし子, 佐藤良博

〔6th International Congress on Biochemistry and Biophysics of Cytochrome P-450 (1988年7月, Vienna, Austria)で発表〕

*武庫川女子大学薬学部

Diethylstilbestrol (DES) 及びその類縁体より生じるラジカルの物理的特性と DNA との反応性

井上富貴子*, 児玉昌彦*, 斎藤 肇*, 小田泰子, 佐藤良博

〔第47回日本癌学会総会(1988年9月, 東京)で発表〕

*国立がんセンター研究所生物物理部

Stereochemical Aspects of 3,7,12,24-Tetrahydroxycoprostanic Acid, A Presumed Intermediate of Cholic Acid Biosynthesis

藤本善徳*, 木下 工*, 大谷いずみ*, 徳元真理絵*, 柿沼勝己*, 池川信夫*, 園田よし子, 佐藤良博, 森崎益雄

〔16th International Symposium on the Chemistry of Natural Products (1988年5月, 京都)で発表〕

*東京工業大学理学部

3,7,12,24-テトラヒドロキシコプロスタン酸の24,25位の立体異性体の合成及び立体配置の決定

木下 工*, 藤本善徳*, 柿沼勝己*, 池川信夫**, 森崎益雄

〔日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島)で発表〕

*東京工業大学理学部, **いわき明星大学理工学部

3,7,12,24-テトラヒドロキシコプロスタン酸の 24,25 位の立体異性体のコール酸への変換

藤本善徳*, 木下 工*, 大谷いずみ*, 柿沼勝己*, 池川信夫**, 園田よし子, 佐藤良博, 森崎益雄

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*東京工業大学理学部, **いわき明星大学理学部

ステロールの構造と生体内機能との相関—— 10-メチル基の重要性和 14-メチル基の影響——

間宮 緑, 高橋恭子, 江口早苗, 森崎益雄

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

コレスタ-8,24-ジエン 3- β オール (チモステロール) の簡単な合成法

荻原典子, 森崎益雄

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

Fangchinoline およびその類縁化合物における抗高血圧作用

早川晃正, 川島紘一郎, 三輪裕子, 大畑尚代, 藤本和子, 鈴木岳之, 荻野達則*, 陳 政雄*

〔第 77 回日本薬理学会関東部会 (1987 年 10 月, 栃木県) で発表〕

*津村研究所

Piretanide の SHR における抗高血圧作用と水・電解質代謝におよぼす作用

川島紘一郎, 早川晃正, 大畑尚代, 藤本和子

〔第 23 回 SHR 学会年会 (1987 年 11 月, 和歌山市) で発表〕

Independency of acetylcholine synthesis of exogenous choline supply in rat brain slices

Suzuki T, Kawashima K

鈴木岳之, 川島紘一郎

〔第 11 回神経科学学会集會 (1987 年 12 月, 東京) で発表〕

Antihypertensive effect of fangchinoline derivatives in SHR

Hayakawa T, Kawashima K, Oohata H, Fujimoto K, Ogino T*, Chen Z-X* (Chin M)

早川晃正, 川島紘一郎, 大畑尚代, 藤本和子, 荻野達則*, 陳 政雄*

〔第 61 回日本薬理学会総会 (1988 年 3 月, 福岡市) で発表〕

*津村研究所

Possible presence of muscarinic M₁ presynaptic receptors regulating acetylcholine release from the myenteric plexus of guineapig ileum

Fujimoto K, Kawashima K, Suzuki T, Oohata H

藤本和子, 川島紘一郎, 鈴木岳之, 大畑尚代

〔第 61 回日本薬理学会総会 (1988 年 3 月, 福岡市) で発表〕

Tetrandrine および関連化合物の摘出血管に対する作用

川島紘一郎, 早川晃正, 鈴木岳之, 大畑尚代, 藤本和子, 荻野達則*, 陣 政雄*

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*津村研究所

ラット前脳基底部切片における細胞外コリン非依存性アセチルコリン合成の検討

鈴木岳之, 藤本和子, 大畑尚代, 川島紘一郎

〔第 78 回日本薬理学会関東部会 (1988 年 6 月, 神奈川県) で発表〕

Antihypertensive effect of tetrandrine derivatives in the SHR

Kawashima K, Hayakawa T, Oohata H, Fujimoto K, Suzuki T, Ogino T*, Chen Z* (Chin M)

川島紘一郎, 早川晃正, 大畑尚代, 藤本和子, 鈴木岳之, 荻野達則*, 陣 政雄*

〔International Symposium on Biosignalling Cardiac and Vascular System (1988 年 9 月, 京都) で発表〕

*Tuzura Institute

高血圧自然発症ラット (SHR) におけるメラトニンの生理

川島紘一郎

〔第 12 回日本学術会議薬理研連シンポジウム (1988 年 9 月, 長崎県) で発表〕

アセチルコリンのラジオイムノアッセイの応用

川島紘一郎, 藤本和子, 大畑尚代, 鈴木岳之

〔第 8 回生体成分の分析化学シンポジウム (1988 年 9 月, 愛知県) で発表〕

フローインジェクション法による銅(Ⅱ)イオン触媒作用の増大効果を利用したアミノ酸の定量

森 久和, 夏目和恵, 山品恭子, 平田小百合, 堀江久美子

〔第 49 回分析化学討論会 (1988 年 6 月, 琵琶湖) で発表〕

N-ニトロソ化合物の直接的な変異原性を抑制する因子の検討

武田 啓, 小泉慶子, 望月正隆

〔日本環境変異原学会第 16 回大会 (1987 年 10 月, 京都) で発表〕

(E)- および (Z)-アルカンジアゾヒドロキシドの変異原活性とアルキル化活性

鶴川さと子, 飛田千恵, 望月正隆

〔日本環境変異原学会第 16 回大会 (1987 年 10 月, 京都) で発表〕

ジアルキルヒドラジン類の突然変異原性の発現機構

松下洋久, 小野明美, 武田 啓, 望月正隆

〔日本環境変異原学会第 16 回大会 (1987 年 10 月, 京都) で発表〕

カルボン酸による直接変異原ニトロソ化合物の活性抑制機構

武田 啓

〔科学研究費重点領域研究「人間環境系」人体影響領域 (N2) 研究発表会 (1988 年 1 月, 京都) で発表〕

カルボン酸による直接変異原性ニトロソ化合物の活性抑制機構

武田 啓, 小泉慶子, 鶴川さと子, 望月正隆

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

N-ニトロソプロリンからのニトロソ基移動反応とその影響因子の検討

椎野純子, 平野登美子, 望月正隆

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

アルキルヒドラジン類の変異原性と反応性

松下洋久, 小野明美, 武田 啓, 望月正隆

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

Reactivity and Mutagenicity of Alkanediazotates as Ultimate Alkylating Species in Metabolic Activation of Nitrosamines

Satoko Ukawa and Masataka Mochizuki

鶴川さと子, 望月正隆

〔第 2 回国際薬物動態学会 (ISSX-88) (1988 年 5 月, 神戸) で発表〕

N-ニトロソプロリンからのニトロソ基移動反応による発癌性 N-ニトロソ化合物の生成

椎野純子, 望月正隆

〔日本癌学会第 47 回総会 (1988 年 9 月, 東京) で発表〕

兔背筋から抽出した Tn-I の収縮抑制機序について

青木裕美, 中山雪磨, 渡辺和子*, 山口正弘**

〔第 65 回, 日本生理学会 (1988 年 4 月, 和歌山) で発表〕

*日本大学, 薬学部, 生物学, **順天堂大学・体育学部・栄養生化学

The Role of Smooth Muscle Tropomyosin in Actomyosin System

M. YAMAGUCHI, K. SOMENO, K. WATANABE and Y. NAKAYAMA

山口正弘*, 染野和夫**, 渡辺和子***, 中山雪麿

[The 3rd International Conference on Muscle Energetics (1988年8月, 大分) で発表]

*順天堂大学・体育学部・栄養生化学, **国立化学研究所, ***日本大学・薬学部, 生物学

F-actin に結合する HMM と平滑筋トロポミオシン

山口正弘*, 橋本祐一*, 青木裕美, 中山雪麿

[第61回, 日本生化学会(1988年10月, 東京) で発表]

*順天堂大学・体育学部・栄養生化学

血栓溶解剤・超音波複合作用による血栓溶解効果増強について

古幡 博, 原 正忠, 真家健一, 金江 清, 岡村哲夫, 澄川万紀, 木村 都

[第27回日本ME学会(1988年4月, 名古屋) で発表]

Cloning of *bsr*, a resistant gene of *Bacillus cereus* against Blasticidin S

小林 香, 遠藤豊成, 鎌倉高志*, 山口 勇*, 田中暉夫**

[JUC PHARM SCI '87 日米合同薬学大会(12月, Honolulu, Hawaii 1987) Poster Abstract S 184]

*理化学研究所, **三菱化成生命科学研究所

***Bacillus brevis* の Edeine B₁ 変換酵素**

滝沢直美, 下遠野久美子, 安田礼子, 遠藤豊成

[日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島) で発表]

Antibiotic K-41 の微生物変換

遠藤豊成, 佐藤智子, 生月千鶴, 滝沢直美, 下遠野久美子

[日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島) で発表]

***Bacillus cereus* の生産する Blasticidin S deaminase について**

小林 香, 下遠野久美子, 田村由佳, 遠藤豊成, 鎌倉高志*, 山口 勇*

[日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島) で発表]

*理化学研究所

Microbial transformation of Antibiotic K-41

遠藤豊成, 下遠野久美子, 生月千鶴, 佐藤智子, 齊藤敬之, 降旗一夫*, 瀬戸治男*

[16th International Symposium on the Chemistry of Natural Products (May, 1988, 京都) で発表]

*東京大学応微研第6研

空気ルミネセンスによる α 放射体の測定

本間義夫, 村瀬裕子, 滝上 誠*

〔日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島)で発表〕

*慈恵医大

低温下における液体シンチレーターの計数率の増加について

本間義夫, 村瀬裕子

〔日本薬学会第108年会(1988年4月, 広島)で発表〕

空気ルミネセンスによるラドンの測定

本間義夫, 滝上 誠*, 村瀬裕子

〔第31回放射化学討論会(1987年10月, 福岡)で発表〕

*慈恵医大

Determination of $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ Ratio in Volcanic Gas.

H. YOSHIKAWA, K. ENDO*, K. KOBAYASHI**, K. YOSHIDA***, Y. HOMMA, M. IMAMURA****, and H. NAKAHARA*

吉川英樹, 遠藤和豊*, 小林紘一**, 本間義夫, 今村峯雄****, 中原弘道*, 吉田邦夫***

〔Thid Chemical Congress of North America (Toronto, Canada, June 5-10, 1988)で発表〕

*東京都立大学理学部, **東京大学原子力研究総合センター, ***東京大学理学部, ****東京大学付属原子核研究所

タンデム加速器を用いる超微量放射性核種の検出(7)

吉田邦夫*¹, 永井尚生*², 今村峯雄*³, 小林紘一*⁴, 吉川英樹, 小林貴之*⁵, 紫田誠一*³, 本田雅健*², 山下 博*¹

〔第31回放射化学討論会(1987年10月, 福岡)にて発表〕

*¹東京大学理学部, *²日本大学文理学部, *³東京大学付属原子核研究所, *⁴東京大学原子力研究総合センター, *⁵東京都立大学理学部

Measurements of the Long-Lived Radionuclides in Environmental Samples by Accelerator Mass Spectrometry

M. IMAMURA*¹, H. NAGAI*², K. KOBAYASHI*³, K. YOSHIDA*⁴, H. YOSHIKAWA, T. KOBAYASHI*⁵, and M. HONDA*²

今村峯雄, 永井尚生, 小林紘一, 吉田邦夫, 吉川英樹, 小林貴之, 本田雅健

〔Second International Conference on Low Level Measurements of Actinides and Long-Lived Radionuclides in Biological and Environmental Samples (Akita City, Japan May 16-20, 1988)で発表〕

*¹東京大学付属原子核研究所, *²日本大学文理学部, *³東京大学原子力研究総合センター, *⁴東京大学理学部, *⁵東京都立大学理学部

^{228}Ra - ^{226}Ra 放射能測定による北投石成長速度の研究

堀内公子*, 中原弘道*, 遠藤和豊*, 末木啓介*, 小坂義浩**, 吉川英樹

〔第 25 回理工学における同位元素研究発表会 (1987 年 7 月, 東京) で発表〕

*東京都立大学理学部, **東邦大学理学部

Analysis of Urine by High-Performance Liquid Chromatography in Dogs with Liver Failure

Toshifumi WATANABE*, Yoshiko ABE, Eriko KOBAYASHI, Kyouko SUZUKI, Akiko KANEKO, and Tadao FUJIE

渡辺俊文*, 安部代司子, 小林恵理子, 鈴木教子, 金子明子, 藤江忠雄

〔XXIII World Veterinary Congress (1987. 8 Montreol, Canada) で発表〕

*麻布大学医学部

光ファイバーセンサーの試作とそれを用いた HPLC との相関について

吉田康子, 杉山啓子, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治*, 内藤教博**, 佐久間一郎**, 福井康裕**

〔第 3 回エル・エス・ティ学会大会 (1987. 12 東京) で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **東京電気大学理工学部

バイオセンサーの試作と HPLC を用いたその評価

杉山啓子, 吉田康子, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治*, 内藤教博**, 佐久間一郎**, 福井康裕**

〔第 3 エル・エス・ティ学会大会 (1987. 12 東京) で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **東京電気大学理工学部

Complex Formation Ability of Thiamine Disulfide with Fatty Acid

Yasuko KOMATA, Akiko KANEKO, Tadao FUJIE, Fumio UEDA*, Shiro URANO**

小股泰子, 金子明子, 藤江忠雄, 上田文夫*, 浦野四郎**

〔The Japanese-United States Congress of Pharmaceutical Sciences 1987 (1987. 12 Honolulu, Hawaii) で発表〕

*Research Laboratory, Kawai Seiyaku Co. Ltd., **Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology

高速液体クロマトグラフィーによる腎移植イヌ血清のピークの変動について (2)

横山祥子, 鈴木晶子, 渡辺浩子, 小股泰子, 金子明子, 藤江忠雄, 渡辺俊文*

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*麻布大学獣医学部

光ファイバーを用いたドラッグセンサーに関する基礎的研究

金子明子, 杉山啓子, 吉田康子, 藤江忠雄, 高井信治*, 長岡昭二**

〔日本薬学会第 108 年会 (1988 年 4 月, 広島) で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **東レ基礎研究所

Thiamine 誘導体の脂肪酸との複合体形成能について

小股泰子, 山岡一江, 金子明子, 藤江忠雄, 浦野四郎*

〔第40回日本ビタミン学会大会(1988.5 京都)で発表〕

*東京都老人総合研究所

機能性膜を使用するドラッグセンサーの試作

高井信治*, 福井康裕**, 佐久間一郎**, 内藤教博**, 藤江忠雄, 金子明子, 杉山啓子, 吉田康子, 田口一宏***, 長岡昭二***

〔第63回日本医科器械学会大会(1988.5 東京)で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **東京電気大学理工学部, ***東レ基礎研究所

膜型ドラッグセンサーに関する基礎的研究

高井信治*, 福井康裕**, 佐久間一郎**, 内藤教博**, 藤江忠雄, 金子明子, 杉山啓子, 吉田康子, 田口一宏***, 長岡昭二***

〔第5回生体繊維と生医学材料に関するシンポジウム(1988.6 東京)で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **東京電気大学理工学部, ***東レ基礎研究所

光ファイバーを用いるドラッグセンサー

高井信治*, 藤江忠雄, 金子明子, 福井康裕**, 佐久間一郎**, 田口一宏***, 長岡昭二***

〔第26回日本人工臓器学会大会(1988.9 東京)で発表〕

*東京大学生産技術研究所, **東京電気大学理工学部, ***東レ基礎研究所